



ミャンマー

企業訪問調査レポート【2】

Piti Chan Tha Co.,Ltd.

～ 小売業の開業支援 ～
(マイクロファイナンス)

■ ミャンマー連邦共和国 Republic of the Union of MYANMAR

— 基礎データ —

- 面積：67万6,578平方キロメートル〔日本の約1.8倍〕
- 人口：5,148万人（2015年5月29日発表、出所：ミャンマー入国管理・人口省暫定発表）
- 首都：ネーपीドー
- 名目GDP総額：660億3,000万ドル（2016年）
- 1人当たりの名目GDP：1,269ドル（2016年 推定値）
- 実質GDP成長率：6.30%（2016年）
- 為替レート：1ドル ≙ 1,234.87 ミャンマー チャット（2016年 期中平均値、本文中は「チャット」と表記）

出所：JETROホームページ 国・地域別に見る「アジア ミャンマー概況（2017年6月更新）」



■ 調査日：2017年 2月9日

■ 分野：小売業の開業支援〔マイクロファイナンス〕

■ 特徴：主に農村地域において、主婦が小規模な食料品店を開業する際の様々な支援を行う。

企業概要

- 社名：Piti Chan Tha Co.,Ltd.
- 住所(本社)：53 Mandaing Street, Wah So Ward, Dawbon Township, Yangon
- URL(SNS)：https://www.facebook.com/PitiChanTha/
- 設立年：2015年 3月
- スタッフ数：約20～25人
- 拠点：Twante、Kawhmu、Dala、Seikkyi Kanaungto …特にこの地域の農村部において、160店舗を展開中
- 支援店舗での主要取扱商品：惣菜、乾物、市販医薬品(OTC医薬品)、食品、飲料等 合計200～250 品目
- 提供サービス：
 - 主婦が小規模な食料品店を開業する際の支援
 - 商品の陳列棚を支給
 - 販売用商品の配送(毎週)
 - 1店舗当たり総額50万チャットの投資(一時金として50%、残りは1年以内に2週間ごと分割で出資)
 - 注文の取り方、来店客が見やすい商品棚の陳列方法等、店舗運営のノウハウを指導
- 社は：
 - 農村地域住民のライフスタイルを向上させる
 - 小売店舗の開店資金を持ち合わせない主婦を支援する



Piti Chan Tha社支給の商品陳列棚

組織

現在、同社のスタッフ数は20～25人で、まだきっちりとした組織はできていないが、今後、エリアマネージャーや営業担当幹部、営業担当者を採用していく計画があるとのことである。

ビジネスの概要

Piti Chan Tha社の営業方針とビジネスモデル

Piti Chan Tha社は、いわゆるマイクロファイナンス企業として小売店舗の形態で低金利の融資を提供している。したがって、マイクロファイナンスと小売業の合体した業態とも言える。

この小売店の開業支援事業を始めるにあたり、同社はターゲット地域でよく売れる商品と地域住民の生活行動について、6ヵ月間調査を行った。Piti Chan Tha社の支援を受け、店舗を経営する主婦に対する条件は以下のとおり。

- ターゲット地域に最低10年在住している
- 自宅を所有している
- 市の管理委員会から「良好な道德観の持ち主である」との推薦状を得ている
- 自分以外の家族が仕事についている(少なくとも家族の1人は収入があること)

■競合他社

現在、同様の事業範囲を持つ競合他社は存在していない。将来的に、似たような出店形態を持ち、商品を小売する卸売企業が出現するかもしれないと考えている。

(右画像)

小売店開業事業の説明パンフレット



店舗への支援事業概要

- 店舗用商品陳列棚を支給
- 商品を店舗入口まで配送
- 売れ筋の商品とそうでないものを見分けるコツ・体系的な注文の取り方の研修実施
- 店主の信用状況が問題ない場合、新製品を供給する



会社が支給する商品陳列棚



研修の様子 (Seikkyi Kanaungto)



研修生 (Twante)

主な取り扱いブランド

店舗の多くは国産ブランド製品を販売しており、いくつかの店ではタイ、中国のブランドを取り扱っている。しかし、取り扱うブランドは店舗が立地する地域によって異なる。例えば、香辛料パウダー一つとっても地域によってブランドの嗜好が異なっている。そのため、特定の商品であっても顧客全般が好むブランドを1つの銘柄に特定することは難しい状況となっている。

各店舗の売上

1店舗当たり週の平均売り上げは20,000~30,000チャットで、売上高利益率はおよそ10~15%である。

ビジネスの概要

主な流通網

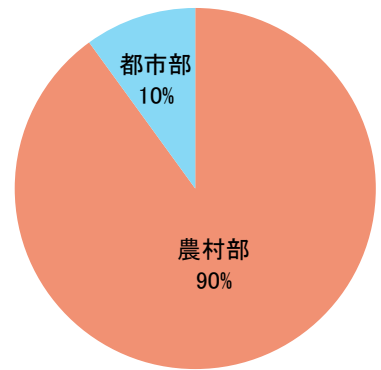
Twante、Kawhmu、Dala、Seikkyi Khanaungtoの農村部を中心に160の店舗を展開しているが、商品の主な配送先はTwanteとSeikkyi Khanaungtoである。

DalaとKawhmuにおいては公共交通機関が通っており、卸売業者からの商品仕入れに便利な立地であるため、店主らはPiti Chan Tha社からの商品配送を待たなくても商品を揃えることが可能となっている。各店舗で取り扱う品目はほぼ同じ物であるが、地域住民の好みによって同じ品目でも異なるブランドの製品が販売されている。

配送チャンネル

Seikkyi Khanaungtoでの商品の配送は地元の人たちに委託している。車を所有しており、商品配送の仕事を希望している者に料金を支払い、配送業務を委託している。

〔地域別店舗分布の比率〕



マーケティング・広告・宣伝手法

- 代理店は置かず、会社は店主と直接取引
- 最も売り上げの良かった店主に対し、会社から表彰する
- 500チャット以上買い物をした人全員にプレゼントを進呈
- 会社の事業内容を紹介した短い動画をFacebook上に公開



優秀な成績をあげた店主に最高売上賞を授与

課題・問題点・改善点

- たとえ利益が少なくても、顧客が欲しいと思うものを売りたいと多くの店主が考えている。Kawhmu地域の店主らは、会社からの商品配送を待たずに、地元市場の卸売業者から商品を仕入れることを望んでいる。これは地元で商品を仕入れる方が安いと考えているからであるが、商品を運ぶ運送コストを彼らは考慮していない。
- 小売ビジネスや会計の基本など、店舗運営のノウハウについて小売店への研修を実施しているが、研修を修了できた者は半数程度である。農村部では人々は忙しく、また教育訓練の重要性をあまり理解していないため続けるの参加は難しい。当初は毎日、午前と午後それぞれ研修の時間を設定していたが、参加者が終日研修に時間を取られたくないという理由から1日1回の実施となった。
- ターゲットとする地域の中には、道路状況が悪いため車でのアクセスが難しく、商品の配送が不可能な地域も存在する。

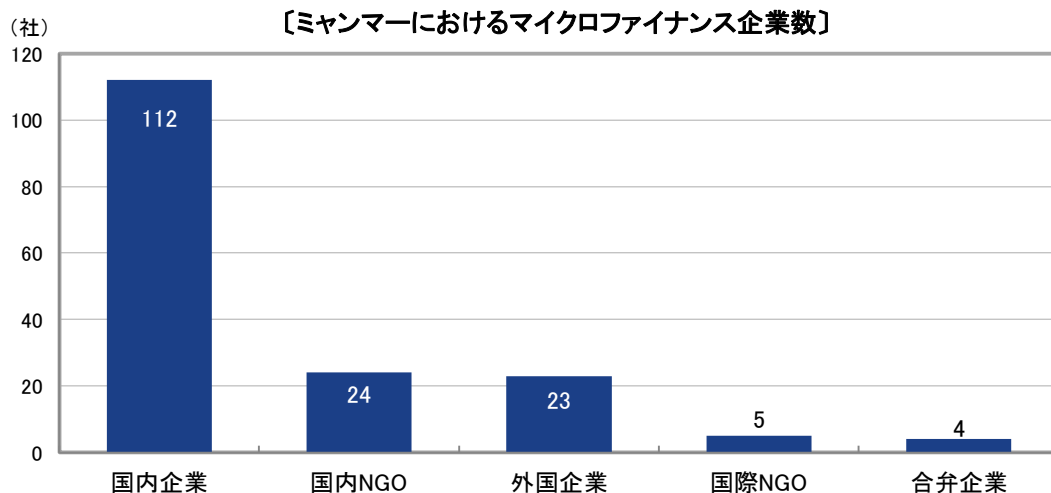
日本(海外)企業に期待すること

資金援助が可能であるなら、どのような海外企業とでも協業を希望している。主婦たちに小売店舗に関するより深い知識を習得してもらいたいと考えており、そのための国際レベルの教育トレーニングの支援を希望している。

マイクロファイナンス業の概況

2016年現在、ミャンマーには、非政府組織(NGO)、非政府間国際機構(INGO)、合併企業や国内・外国企業を含め168のマイクロファイナンス企業が存在している*1。これらすべて、計画・財務省の金融規制局(FRD: Finance egulation Department)による法規制の管轄下にある。

*1: GIZ(ドイツ国際協力公社)「ミャンマーの金融業界」(2016年)



マイクロファイナンス事業の概況

金融規制局によるマイクロファイナンス事業基準

項目	概要
最小払込資本金	預金受け入れあり:3億チャット
	預金受け入れなし:1億チャット
金利	強制預金金利:最低年利15%
	任意預金金利:最低年利10%
	融資金利 :最大年利30%
プルデンシャル・レシオ	最低ソルベンシー比率:12%
	最低流動比率:25%
マイクロファイナンス商品	最大融資額:5百万チャット
	最大強制預金額:ソルベンシー比率の12%
	マイクロリース:可 (海外マイクロファイナンス企業1社が提供しているとの情報あり。)
	モバイル決済:可 (ミャンマー中央銀行による個別認可要。地元マイクロファイナンス企業1社が提供しているとの情報あり。)
	マイクロ保険:法的には可 (ただし、規則がまだ発効していない。)

編集後記

小売市場の概況

小売市場の約9割を昔ながらの商店が占めており、残りが近代的商店となっている。近代的商店の中では、オーシャン(Ocean)、シティマート(City Mart)、Sein Gay Har、Ga Mone Pwintが最も人気があり、近代的商店市場のほぼ7割を占めている*2。これらほとんどの企業は都市部への出店を主体としているが、Piti Chan Tha社は農村部に主眼を置いている。

*2:「ミャンマーの小売産業とシティマートホールディング株式会社」(2014年7月)

Piti Chan Tha社から見た市場の将来性と展望

Piti Chan Tha社は、事業を拡大して2018年までに国内全土に新規店舗を開店したいと考えている。また健康食品など自社製品の製造も計画している。



店舗(Twante・Myago村)



店舗(Kawhmu・Myoma地区)



Piti Chan Tha社のスタッフ

